

残留農薬検査(その2)

食品中に残留する農薬などが、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、平成29年6～8月に食品専門監視班、各区福祉保健センターが搬入した農産物等の検査結果を報告します。

1 市内産農産物

6月に搬入されたこまつな(6検体)、なす(5検体)、きゅうり及びトマト(各2検体)の15検体、7月に搬入されたかぼちゃ、きゅうり、トマト及びびばれいしょ(各1検体)の4検体、8月に搬入されたなす(1検体)、日本なし及びぶどう(各2検体)の5検体、合計24検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。きゅうり1検体、こまつな5検体、なす3検体、日本なし2検体及びぶどう2検体の計13検体からアゾキシストロビン等11種類の農薬が0.01～0.23ppm検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

2 国内産農産物(野菜の冷凍食品を含む)

7月に搬入されたかぼちゃ(冷凍)、きゅうり及びトマト(各1検体)の3検体、8月に搬入されたいちじく、すいか及びすもも(各1検体)の3検体、合計6検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。いちじく、かぼちゃ(冷凍)、きゅうり、すもも及びトマト(各1検体)の計5検体から、クロルフェナピル等4種類の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

3 輸入農産物

8月に搬入されたグレープフルーツ2検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。1検体からクロルピリホスが0.11ppm検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えていませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 残留農薬検査結果

(H29年6月～8月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
市内産農産物						
かぼちゃ	横浜市	1	0			
きゅうり	横浜市	3	1	*アゾキシストロビン	0.02	1
				*クロチアニジン	0.03	2
こまつな	横浜市	6	5	イミダクロプリド	0.01	5
				テフルトリン	0.01、0.04	0.5
				テフルトリン	0.01	0.5
				フルフェノクスロン	0.01	10
				クロルフェナピル	0.06	5
				チアメトキサム	0.01	5
				テフルトリン	0.02	0.5
トマト	横浜市	3	0			
なす	横浜市	6	3	クロルフェナピル	0.08	1
				クロチアニジン	0.01	1
				クロルフェナピル	0.04	1
				アセタミプリド	0.05	2
				クロルフェナピル	0.02	1

表1 残留農薬検査結果(続き)

(H29年6月~8月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値	基準値
					(ppm)	(ppm)
市内産農産物(続き)						
日本なし	横浜市	2	2	フェンプロパトリン	0.11	5
				アゾキシストロビン	0.11	2
				クロルフェナピル	0.01	1
				フェンプロパトリン	0.17	5
ばれいしょ	横浜市	1	0			
ぶどう	横浜市	2	2	イミダクロプリド	0.03	3
				クロルフェナピル	0.01	5
				ファモキサドン	0.14	2
				ペルメトリン	0.23	5.0
				アゾキシストロビン	0.03	10
				イミダクロプリド	0.09	3
				クロルフェナピル	0.02	5
				ペルメトリン	0.10	5.0
国内産農産物						
いちじく	愛知県	1	1	クロルフェナピル	0.02	2
かぼちゃ(冷凍)	北海道	1	1	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.006	0.03
きゅうり	福島県	1	1	クロルフェナピル	0.02	0.5
				チアクロプリド	0.12	1
すいか	神奈川県	1	0			
すもも	山梨県	1	1	アゾキシストロビン	0.15	2
トマト	北海道	1	1	アゾキシストロビン	0.01	3
輸入農産物						
グレープフルーツ	南アフリカ	2	1	クロルピリホス	0.11	1

*中括弧({})は同一検体からの検出

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物			
		A*1	B*1	C*1	D*1			A	B	C	D
BHC(α,β,γ及びδの和)	0.005	○*2	-*2	-	-	エンドリン	0.005	-	○	-	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和*3)	0.005	○	○	○	○	オキサミル	0.01	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	オキシカルボキシ	0.01	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	オリザリン	0.01	-	○	○	○
アザメチホス	0.01	○	○	○	○	カズサホス	0.01	○	○	○	○
アジンホスメチル	0.01	-	-	-	○	カフェンストール	0.01	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	カルバリル	0.01	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	カルプロパミド	0.01	○	○	○	-
アニロホス	0.01	○	○	○	-	クミルロン	0.01	○	○	○	○
イプロバリカルブ	0.01	○	○	○	○	クロキントセット-メキシル	0.01	○	○	○	○
イプロベンホス	0.01	○	○	○	○	クロチアニジン	0.01	○	○	○	-
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○
インダノファン	0.01	○	○	○	-	クロリダゾン	0.01	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	クロルピリホス	0.01	○	○	○	○
エチオン	0.01	○	○	○	○	クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○
エトプロホス	0.005	○	○	○	○	クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○
エトリムホス	0.01	○	○	○	○	クロルフェンソン	0.01	○	○	○	○
エポキシコナゾール	0.01	-	-	○	-	クロルフェンビンホス	0.01	○	○	○	○
エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	-	○	-	-	クロロクスロン	0.01	○	○	○	○

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
シアゾファミド	0.01	○	○	○	-	フェノキシカルブ	0.01	○	○	○	○
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	フェリムゾン	0.01	○	-	-	-
ジウロン	0.01	○	○	○	-	フェンアミドン	0.01	○	○	○	-
ジオキサベンゾホス	0.01	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○
ジクロフェンチオン	0.01	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	フェントラザミド	0.01	○	○	○	-
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	-	○	フェンバレレート	0.01	-	○	○	-
シフルトリン	0.01	-	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	-	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	-	○	フェンプロパトリン	0.01	-	○	○	○
シペルメトリン	0.01	-	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○
ジメチリモール	0.01	-	-	○	○	ブタミホス	0.01	○	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	-	フラメピル	0.01	○	○	○	-
スルプロホス	0.01	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	-	○	○	-
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	フルバリネート	0.01	-	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○
チアクロプリド	0.01	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○
チアメトキサム	0.01	○	-	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○
テトラクロルビンホス	0.01	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○
テトラジホン	0.01	○	○	○	-	プロピザミド	0.01	-	○	○	○
テブチウロン	0.01	○	○	○	-	ヘキサフルムロン	0.01	○	-	-	-
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	-	-	-
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○
トラルコキシジム	0.01	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○
トリチコナゾール	0.01	○	○	○	-	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○
トリフルムロン	0.01	○	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	ペントキサゾン	0.01	○	-	-	-
ノバルロン	0.01	-	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	-	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	-
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	メタベンズチアズロン	0.01	○	○	○	○
ピラクロストロビン	0.01	○	-	-	-	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○
ピラゾリネート	0.01	-	-	○	○	メビンホス	0.01	○	○	○	○
ピリフタリド	0.01	○	○	○	○	モノリニューロン	0.01	○	○	○	-
ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	ラクトフェン	0.01	○	○	-	○
ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.002	○	○	○	-
フェントロチオン	0.01	○	○	○	○	ルフエヌロン	0.01	-	○	○	○

*1 A:かぼちゃ、こまつな、トマト B:きゅうり、なす C:ばれいしょ
D:いちじく、グレープフルーツ、すいか、すもも、日本なし、ぶどう

*2 ○:実施、-:実施せず

*3 DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】